



大雨から大切な命を守る ～逃げ遅れゼロに向けて 住民避難を後押しする防災啓発～

愛知県名古屋市 一般社団法人中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所

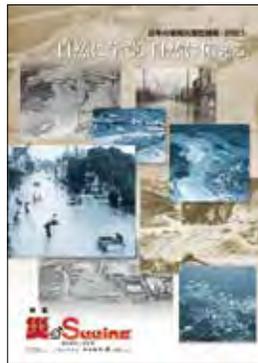
1 はじめに

中部地方は平成12年の東海豪雨以来、大規模な水害に見舞われておらず、水害が発生した場合には水害の経験が少ないことに加え、コロナ禍の影響もあって避難が遅れ、高齢者を中心により深刻な被害に遭う可能性があります。当研究所では、コロナ禍での新しい生活様式も踏まえ、トレンドを意識し、幅広い年齢層や防災への関心の薄い人たちにも伝わる、「大雨から大切な命を守る」ための、アナログとデジタルの両面を活用した防災啓発活動に取り組んでいます。

2 取り組みの内容

(1) 防災啓発冊子の発刊

過去の災害から学び、その教訓を今に生かし備えることを目的に、中部地域で発生した豪雨災害を取りまとめた約60ページの防災啓発冊子「自然に学び自然に備える」を2010年度から毎年発刊し、中部地域の約200の自治体、図書館、高校、大学などに配布しています。この冊子を見れば、中部地域の豪雨災害の歴史や特徴が理解できる構成となっています。コロナ禍の影響により防災訓練など直接配布する機



防災啓発冊子

会が減少したことから、電子冊子としてホームページで公開し、自宅や学校で学べるよう工夫しています。

(2) 浸水疑似体験VRの制作と活用

水害未経験者に水害の恐ろしさを体感して貰うため、VRを活用した浸水疑似体験を防災講座やイベントなどで実施しています。自宅での逃げ遅れによる浸水被害を疑似体験するもので、シナリオに沿って行動を選択し、ゲーム感覚でリアルな体験ができる若者向けのシナリオモードと、操作を伴わず浸水を体験できる高齢者向けの浸水体感モードの2種類のコンテンツを制作し、幅広い年齢層への対応が可能です。防災講座・訓練などと合わせてVR体験を実施することで、より効果的・効率的な防災啓発となっています。



浸水時のVR画面



浸水疑似体験の様子



また、VRで体験する映像は、YouTubeで配信を行っています。

(3) 「大雨にソナエルピクト」の制作

東京オリンピックで話題となったピクト



大雨にソナエルピクト

グラムをヒントに、大雨などの際、事前に備えるべき行動を表した「大雨にソナエルピクト」を制作し、誰でも自由に活用できるように当協会ホームページで公開しました。図柄は8種類用意し、活用の促進を図るため、チェック欄や避難場所を記載できるスペースを配置したチェックリストとしても公開しています。制作にあたっては、若い感性を取り入れる目的で、高校生の意見も聴取しました。自宅で日頃から目に触れる様、マグネットシートに加工した「ソナエルマグネット」の配布も行っています。

(4) あつ森(あつまれどうぶつの森)を活用した啓発動画の制作・配信

令和3年5月に避難情報が見直しされた事を踏まえ、「あつ森」を活用し、防災に関心の薄い若年層に水害時の早期避難を促す学習動画を制作しました。「あつ森」は若い世代を中心に多くの人知っているものであり、短い時間で避難行動が理解で



「あつ森」を活用した防災啓発

き、タブレット学習への活用にも期待が持てます。ユーチューブでの配信も行っています。

(5) デジタル展示館

DX推進の取り組みとして、バーチャル空間で展示物を自由に見て回ることができる「デジタル展示館」を制作しホームページ及びスマホアプリで公開しました。昭和レトロな空間で、中部地方で昭和30年代を中心に発生した自然災害について、当時の白黒写真を自身の手でカラーに変換して閲覧でき、近年発生した類似災害を併せて掲載することで、この地域で同様の災害が起こりうることを自分事として捉えて貰うことができます。



デジタル展示館

3 今後に向けて

現在、これらの取り組みを活用して、小中高生などに向けた防災講座を精力的に行っています。今後は、障害のある人や外国人にも伝わるダイバーシティ推進の取り組みへ展開していきたいと考えています。

■お問い合わせ先

住所：〒467-0856

名古屋市瑞穂区新開町21番10号

TEL：052-871-9380

E-mail：kenkyujyo@cck.or.jp

紹介した取り組みは、中部地域づくり協会ホームページで公開しています。

<https://www.ccknet.jp/>

